

テーマ探究 テーマ設定サポートシート

V1.0

Step 1 「問い」を出し合う（アイデアの共有^{シェア}）

① 一人ブレインストーミング

まずは班員各自で思いついた「問い」を書き出してみよう。また、「問い」に関連する事柄も書き出そう。この段階では、突飛なものや現実性のないものでもよいから、思いつくままに書き出してみよう。

※付箋紙などを使用

② KJ法によるアイデアの整理・共有

班員が書き出した「問い」や「関連する事柄」をグルーピング（マッピング）して整理し、班員の興味やアイデアを共有しよう。新しい「問い」や「事柄」が出てきたら、それも追加しよう。

※大きな紙を使用

STEP 2 「問い」と周辺知識の共有と構造化

① 基礎知識の確認

書き出した「問い」や「事柄」に関する基礎知識を分担して確認しよう。教科書・辞書・ネット等を利用する。

※中学教科書レベルの基礎知識は必ず確認する。

※コンピュータ室や図書館の使用可。

※Wikipedia(ネット上のフリー百科事典)は調査・学習の第一歩としてとりあえずは有効だが、必ずしも信頼できない記述があることに注意。

※確認に際しては、「事実」と「意見」の違いに注意すべし。

※知識の学習は今後も引き続き行う。

② 「問い」の構造化

確認結果を共有しながら、書き出した「問い」や「事柄」を改めて整理（再マッピング）し、「問い」と周辺知識を構造化（可視化）しよう。

Step 3 「学問的な問い」と具体的な調査・実験計画の立案（テーマの絞り込み）

① テーマの明文化

ここまでの活動を踏まえて、自分たちが明らかにしたい「問い」を簡潔な文に書き出して、当面の研究テーマ（仮テーマ）としよう。

※「問い」が学問的な問いになっているか、検証可能かに注意。

② 作業仮説の設定

テーマとした「問い」に対して、現時点で結果予想（作業仮説）を考え、書き出してみよう。

③ 調査・実験計画の立案

作業仮説を検証する（真偽を実証的に確かめる）ためには、どのような調査・実験が必要か、具体的な行動計画を考えよう。

※全体に、「個人による考察」と「話し合い」を上手く使い分ける。雑談に流れないように。